

北九州市青少年施設リニューアルにかかる民間活力導入調査 仕様書

1 業務名

北九州市青少年施設リニューアルにかかる民間活力導入調査

2 目的

北九州市では、青少年に対する各種の「体験活動の場」提供の重要性が強く求められる中、市内の青少年施設においては、青少年人口の減少に伴う利用率低下や施設老朽化等の課題に直面している。こうした状況を踏まえ、青少年施設全体の最適なあり方を検討しており、民間活力の導入ならびに拠点集約化を行うことで、青少年施設の機能向上とにぎわい創出、財政負担の軽減を図ることを目指している。本件は、老朽化が進行している青少年施設のリニューアル計画を進めるにあたり、民間活力の導入について調査検討を行うものである。

3 業務内容

本業務は、青少年施設のリニューアル事業化に向けて、以下の課題解決と検討事項を進めることを目的とする。

(1) 整備地の土地利用関係の整理・確認

ア 本施設および所在する都市公園についての現況整理

本施設および所在する都市公園について、現況を整理する。

なお、本項目に関連して市が保有または入手可能な資料については貸与または提供する。

(2) 事業スキームの提案

ア 民間活力導入時の各種事業スキームの比較検討

今後の青少年施設としての利用見込や新たな拠点が生まれることによる地域活性化の効果を鑑み、PFI 手法等による整備・所有・運営の検討を行う。

イ 整備すべき施設の規模(スペック)の提案

生活様式の変化を受け、昨今の利用者ニーズに合致した設備の提案や、青少年人口が減少する中、市内の青少年施設の収容人数が過多である状況や、類似する未就学児施設が近隣にある状況を踏まえ、適正な施設規模や施設のあり方を検討する。

ウ 概算事業費の算出

エ 事業期間の検討

(3) 事業性の検証

ア 官民の役割分担の提案

想定スキームで事業を実施する際に発生する業務や想定リスクを洗い出し、官民の分担を検討する。

イ 事業発案時の対話(サウンディング)の企画・実施

本施設のリニューアルを図るため、本施設の収益施設としての市場性の有無を確認し、活用アイデアを聴取することを目的に、民間事業者との対話(サウンディング)調査を企画・実施する。

(4) その他

ア 事業推進にあたっての留意点の整理

本調査結果を踏まえ、次年度以降の事業化に向けた具体的なステップやスケジュール、進捗させる上で解決すべき課題等を整理する。

イ 報告書作成

4 費用負担

業務の実施に係る費用(予算上限額 800 万円)

※ 市が負担する委託料の額を超える場合は、その超えた額について、運営事業者が負担する。

5 成果品

(1) 業務完了報告書

(2) 分析結果報告書

データ:Microsoft Word 等編集可能なもの、紙媒体:10 部

(3) 各会議体等の議事録 及び 要約(Microsoft Word 等)

(4) 収集分析したデータ・グラフ等(Microsoft Excel 等編集可能なもの)

(5) 作成にあたり使用した各種音声・録画・写真等データ(北九州市が提供するものを除く)

6 提出先

北九州市子ども家庭局こども若者育成課

(北九州市小倉北区城内1-1 北九州市役所庁舎11階)

7 その他

(1) 成果品に係る一切の権利は、北九州市に帰属するものとする。

(2) 作成にあたって、写真、イラストなど他の刊行物からの無断転載等著作権の侵害となるような行為をしないこと。転載等を行う場合には、著作権の帰属に

ついて確認し、その利用許諾等適正な手続きを取ること。

- (3) 本仕様書に定めのない事項については、北九州市契約規則によるものとし、同規則に定めのない事項については発注者と受注者とが協議して決定する。ただし、協議が成立しないときは、発注者の定めるところによる。